

# 手遅れになるまえに相談を!

専門家が秘密厳守で相談にのってくれます。

友だちから誘われて  
困っているんだ…  
仲間外れに  
なりたくなくて…

この間、  
ノリで使ったやつ  
薬物だったら  
どうしよう…

毎日が辛くて、  
このままだと薬物に  
手を出してしまいそう…



## 薬物について相談できる窓口はこちら

北海道	北海道厚生局麻薬取締部 北海道医務業務課 北海道立精神保健福祉センター 札幌こころのセンター	☎011-726-1000 ☎011-204-5265 ☎011-864-7121 ☎011-622-0556	近畿厚生局麻薬取締部神戸分室 福井県医薬食品・衛生課 福井県総合福祉相談所 滋賀県業務課	☎078-391-0487 ☎0776-20-0347 ☎0776-26-4400 ☎0775-528-3634	
東北	東北厚生局麻薬取締部 青森県医療業務課 青森県立精神保健福祉センター 岩手県健康国保課 岩手県精神保健福祉センター 宮城県業務課 宮城県精神保健福祉センター 仙台市精神保健福祉総合センター 秋田県医療事業課	☎017-734-9289 ☎017-787-3951 ☎019-629-5467 ☎019-629-9617 ☎022-211-2653 ☎0229-23-0021 ☎022-265-2191 ☎018-860-1407 ☎018-831-3946 ☎023-630-2333 ☎023-674-0139 ☎024-521-7233	中国四国厚生局麻薬取締部 福井県業務課 和歌山県業務課 和歌山県精神保健福祉センター 中国四国厚生局麻薬取締部 鳥取県医療・保険課 鳥取県立精神保健福祉センター 島根県薬事衛生課 島根県立心と体の相談センター 岡山県医薬安全課 岡山県精神保健福祉センター 岡山市こころの健康センター 広島県業務課 広島県立総合精神保健福祉センター 広島市精神保健福祉センター 山口県業務課 山口県精神保健福祉センター	☎077-567-5010 ☎075-414-4790 ☎075-641-1810 ☎075-314-0355 ☎06-6941-9078 ☎06-6691-2811 ☎06-6922-8520 ☎072-245-9192 ☎078-362-3270 ☎078-252-4980 ☎078-371-1900 ☎0742-27-8664 ☎0744-47-2251 ☎073-441-2663 ☎073-435-5194 ☎082-228-8974 ☎0857-26-7203 ☎0857-21-3031 ☎0852-22-5259 ☎0852-21-2045 ☎086-226-7341 ☎086-201-0828 ☎086-803-1273 ☎082-513-3221 ☎082-884-1051 ☎082-245-7731 ☎083-933-3018 ☎083-902-2672 ☎087-823-8800	
関東信越	山形県新型コロナ収束総合企画課 山形県精神保健福祉センター 福島県業務課 福島県精神保健福祉センター 関東信越厚生局麻薬取締部 関東信越厚生局麻薬取締部横浜分室 茨城県業務課 茨城県精神保健福祉センター 栃木県業務課 栃木県精神保健福祉センター 群馬県業務課 群馬県こころの健康センター 埼玉県業務課 埼玉県立精神保健福祉センター さいたま市こころの健康センター 千葉県業務課 千葉県精神保健福祉センター 千葉市こころの健康センター 東京都業務課 東京都立中部総合精神保健福祉センター 東京都立多摩総合精神保健福祉センター 東京都立精神保健福祉センター 神奈川県業務課 神奈川県精神保健福祉センター 横浜市こころの健康相談センター 川崎市精神保健福祉センター 相模原市精神保健福祉センター 新潟県感染症対策・業務課 新潟県精神保健福祉センター 新潟市こころの健康センター 山梨県衛生業務課 山梨県立精神保健福祉センター 長野県薬事管理課 長野県精神保健福祉センター	☎024-521-7233 ☎024-535-3556 ☎03-3512-8690 ☎045-201-0770 ☎029-301-3388 ☎029-243-2870 ☎028-623-3119 ☎028-673-8785 ☎027-226-2665 ☎027-263-1156 ☎048-830-3633 ☎048-723-3333 ☎048-762-8548 ☎043-223-2620 ☎043-263-3891 ☎043-204-1582 ☎03-5320-4505 ☎03-3302-7575 ☎042-376-1111 ☎03-3844-2210 ☎045-210-4972 ☎045-821-8822 ☎045-671-4455 ☎044-200-3195 ☎042-769-9818 ☎025-280-5187 ☎025-280-0111 ☎025-232-5560 ☎055-223-1491 ☎055-254-8644 ☎026-235-7159 ☎026-266-0280 ☎052-961-7000 ☎076-444-3234 ☎076-428-1511 ☎076-225-1442 ☎076-238-5761 ☎058-272-8285 ☎058-231-9724 ☎054-221-2413 ☎054-286-9245 ☎054-262-3011 ☎053-457-2709 ☎052-954-6305 ☎052-962-5377 ☎052-483-3022 ☎059-224-2330 ☎059-223-5241 ☎06-6949-3779	四国	九州	沖縄

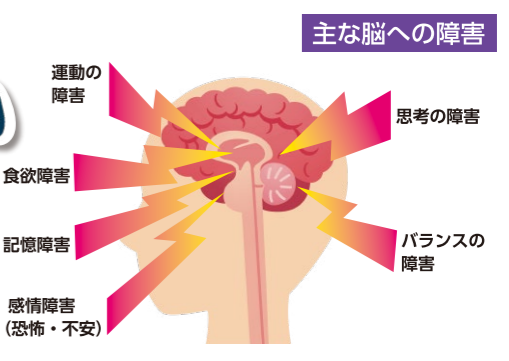
学生のみなさんへ

# 薬物大麻の誤解と危険!



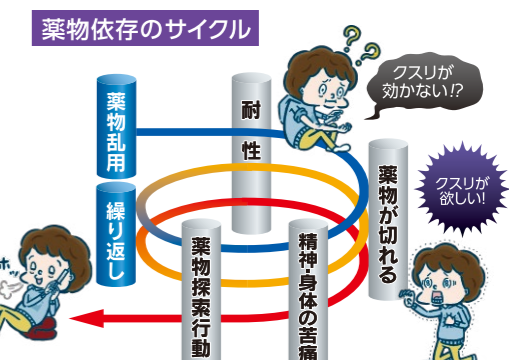
## 薬物は脳にダメージを与えます。

私たちの脳は、すごいスピードで情報を処理し、心と身体をコントロールする優れた仕組みを持っています。しかし、薬物を乱用すると脳の仕組みにダメージを与え、乱用が続けられるなかで様々な障害を引き起こします。そして、一度ダメージを与えられた脳は、薬物を使う前の状態には戻らなくなってしまいます。



## 薬物はやめられなくなるから危険!

薬物は乱用を続けると「耐性」ができて同じ量では効かなくなり、使用量が増えていきます。また「依存性」によって、自分の意志だけではやめたくてもやめられなくなってしまいます。薬物をやめ、通常の社会生活をするまで回復するためには、生涯にわたって適切な治療や周囲のサポートが必要になります。

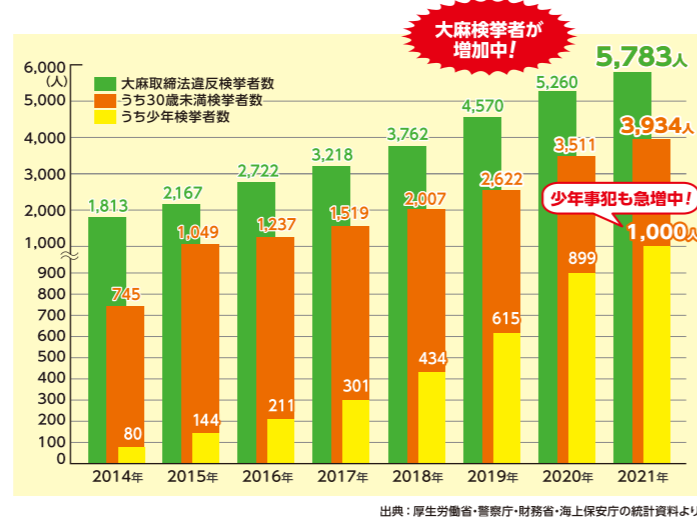


# いま、危険度が増しているのは大麻です!

## 若者の検挙者が急増中!

ここ数年、大麻による検挙者が急増しています。2021年には大麻の検挙者数は過去最多の5,783人となり、そのうち約68%は30歳未満の若者でした。なかでも急増しているのが少年で、2021年には7年前の12倍以上となる1,000人が検挙されています。

その原因の一つとしてインターネット等に氾濫している「大麻は身体への悪影響がない」などの間違った知識や情報が影響していることが考えられており、注意が必要な状況です。



## 大麻のこと甘く見てはいませんか?

法務省が発表した全国の覚醒剤取締法違反による受刑者を対象とした調査によると、対象者が最初に乱用した薬物を、調査した時の年齢層別にみた結果、30歳以上では年齢層が上がるにつれて覚醒剤が増えている一方、30歳未満の者では大麻の割合が最も多くなっているという結果でした。

軽い気持ちで大麻に手を出したら覚醒剤等の薬物にまで手を出していた、ということにもなりかねません。間違った情報に惑わされて軽い気持ちで大麻に手を出すのは危険です!

出典：令和2年版犯罪白書-薬物犯罪-(法務総合研究所)をもとに作成

## 大麻は心身への悪影響はない? → NO 有害です!

インターネット等で、「大麻は身体への悪影響がない」「依存性がない」などの誤った情報が氾濫しています。しかし、実際には大麻を乱用すると、大麻の花や葉に含まれる成分「THC(テトラヒドロカンナビノール)」が脳に作用して下図のような様々な不具合を引き起こします。特に成長期にある若者の脳に対して影響が強いことも判明しています。また、大麻はうつ病や記憶の障害を引き起こすなど、メンタルヘルスにも悪影響を与えます。間違った情報に流されず、正しい知識で判断しましょう!

大麻の乱用による影響			大麻の有害性		大麻を長く使い続ける影響	
<b>知覚の変化</b>	<b>学習能力の低下</b>	<b>運動失調</b>	<b>精神障害</b>	<b>IQ(知能指数)の低下</b>	<b>薬物依存</b>	
時間や空間の感覚がゆがむ	短期記憶が妨げられる	瞬時の反応が遅れる	統合失調症やうつ病を発症しやすくなる	短期・長期記憶や情報処理速度が下がる	大麻への欲求が抑えられなくなる	

## 海外で合法だから大麻は安全? → NO 間違いです!

大麻について「海外では合法的な国があるから安全だ」という主張を耳にすることがあるかもしれませんが、しかし、薬物を取り巻く環境は日本と海外では大きく違います。法律などの規則はそれぞれの国の事情や背景をもとに作られているため、「海外で合法だから大麻は安全」ということではありません。

大麻の所持や使用が犯罪にならない国や地域であっても、**大麻の有害性の影響を大きく受ける未成年の所持や使用は禁じられています。**間違った主張に流されないようにしましょう!



## SNSでの薬物の誘いに注意!

近年、薬物が密売買される手段として危険が拡大しているのがSNSです。SNS上では大麻を意味する隠語などが使われ、大麻などの購入を促す内容が多く投稿されています。実際に未成年の学生がSNSを通して売人から大麻を購入した事件が複数報告されており、大きな問題となっています。

SNSを通して薬物の売人と関わることは、多くの危険を伴います。もし、そのような投稿を見つけても誘いに乗らないようにしましょう。

## 大麻の加工品や大麻を含んだ食品に気をつけて!

大麻から成分を抽出した「大麻リキッド」や「大麻ワックス」など新しいタイプの加工品の摘発も増加しています。また、海外でお土産として売られているチョコレートやクッキー、キャンディなどの中に**大麻が含まれている**ことがあります。誤って口にして体調不良で救急搬送された事例も発生しているので十分に注意しましょう。



## 大麻や覚醒剤などの薬物は、持っているだけでも法律によって罰せられます。

大麻	覚醒剤	MDMA
<b>大麻所持・譲渡</b>	<b>覚醒剤所持・譲渡</b>	<b>コカイン・MDMAなど所持・譲渡</b>
大麻取締法 5年以下の懲役	覚醒剤取締法 10年以下の懲役	麻薬及び向精神薬取締法 7年以下の懲役

## 薬物の誘いに、きっぱりNo!と断る勇気を!

薬物を乱用するきっかけは「友人からの誘い」が多いということが報告されています。言葉で断れる場合は**勇気をもってきっぱり断ることが大切です。**でも、身近な友人から誘われた場合には「仲間外れにされるのが怖い」などの理由で、断りづらいつと感ずるかもしれません。そんな時は、とにかくその場から立ち去りましょう。**立ち去ることも勇気**です。

一人で問題を抱え込まないで、信頼できる大人や専門の窓口に相談してください。



## 医薬品も間違った使い方は乱用です!

医師から処方された薬や市販薬を用法・用量を守らずに過量に摂取することは、健康被害を引き起こしたり、やめられなくなったりするおそれがあります。また、処方された薬を他人に譲ることや、偽造品などのリスクが高い海外で販売されている医薬品を安易に個人輸入することは、避けましょう。

**過量服薬は健康被害を引き起こすなど大変危険です!**

